

世界から児童労働をなくそう！署名

日本は、未曾有の大災害からの再生という大課題に立ち向かっています。東日本大震災の被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をお祈りします。

世界には、貧困のため、困難な生活を強いられている子どもたちが少なくありません。我が国も含めた地球社会の全員が、未来を担うすべての子どもたちが、学び、遊び、健やかな子ども時代を過ごせるよう、国際協力を続ける必要性は大きいのです。

今年も、日本政府に児童労働撤廃のための行動をすることを求めて、署名活動を行うこととしました。1人ひとりの力は小さくとも、集まれば変化を起こす力が生まれます。ぜひ皆様のご協力をお願いします。

締切：2011年7月31日（日）

外務大臣殿
文部科学大臣殿
厚生労働大臣殿

世界には2億1500万人の子どもたちが、十分な教育を受けられないまま、児童労働を強いられています。残念ながら、アフリカや15-17歳では、児童労働が増えています。

2010年9月のミレニアム開発目標(MDGs)国連首脳会合の成果文書で、目標1(極度の貧困の撲滅)に、社会経済開発、貧困撲滅プログラム、普遍的教育等の国際協力・援助を通じての最悪の児童労働撤廃に向けての取組がうたわれました。

1. 日本政府が貧困削減や教育支援の国際協力を行うにあたって、児童労働の現状を十分に考慮し、撤廃のための取組を組み込んで下さい。

2016年までに「最悪の形態の児童労働」(*)をなくすことを、国際社会は約束しています。2010年5月オランダ・ハーグで開催された児童労働世界会議では、「最悪の形態の児童労働」をなくすための工程表を定めました。この工程表も含めた児童労働撤廃のための「グローバル行動計画」(2010-2016年)が、2010年11月のILO理事会で定められました。

2. 2016年までの「最悪の形態の児童労働」撤廃の国際目標が達成できるよう、日本政府の国際協力を強化して下さい。

3. 国際条約の締約国として、日本もまた、「最悪の形態の児童労働」を根絶するために、具体的な措置を直ちに講じることが義務付けられています。日本政府は、世界から「最悪の形態の児童労働」を根絶するために、日本の行動計画を策定して下さい。

*「最悪の形態の児童労働」とは、ILO182号条約に定められている、撤廃に向けた即時の行動が求められる児童労働を指します。債務労働、人身売買、子どもポルノ・買春、子ども兵士、危険・有害労働等を指します。日本は2001年にこの条約を批准しました。

署名は裏面を
ご利用ください！

「世界から児童労働をなくそう! 署名」の趣旨に賛同し、署名いたします。

名分

	お名前	都道府県	メッセージ(任意)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

※署名は、本人が行ってください。 ※この署名用紙はコピーしても使えます。キャンペーンウェブサイトからもダウンロード可能です。

※署名用紙は郵送してください(まとめてお送りいただく場合は、郵送分の合計署名人数を別紙に明記ください) ※記入していただいた個人情報、署名提出以外の目的には使用しません。メッセージは無記名で紹介させていただく場合があります。 ※インターネットからも署名ができます。遠方のお友達やご家族にご紹介ください。 <詳細はこちら>児童労働反対世界デーキャンペーン2011 stopchildlabour.jp



郵送先・署名に関するお問い合わせ: 児童労働ネットワーク(CL-Net)

〒110-0015 東京都台東区東上野1-6-4 あつきビル3F (特活)ACE内

TEL: 03-3835-7555 FAX: 03-3835-7601 Email: info@cl-net.org Web: www.cl-net.org